

道の駅「伊勢志摩」 空調機改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M-01	特記仕様書 1	E-01	特記仕様書・単線結線図
M-02	附近見取図 配置図 面積表	E-02	空調電源配線図・単線結線図
M-03	改修平面図		
M-04	天井伏図 断面図	参考図	現況空調設備平面図
M-05	機器表		
M-06	空調設備平面図		
			A3 71%縮小

2016. 9

工事名称	設計図	設計	担当			一級建築士 登録 73286号 箕 浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号	—
		訂正							
		A3 71%縮小							

機械設備工事特記仕様書

1 工事名称

道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事

2 工事場所

志摩市 磯部町穴川 地内

3 建築概要

休憩室 トイレ 事務室 鉄骨造 平屋建 延べ面積 200.00㎡
消火令の適用 15項

4 適用基準

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による
三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月）
国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成25年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成25年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成25年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針平成25年版」
国土交通省国土技術政策総合研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」
なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。

5 一般事項

工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。
設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の脱記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合には、その範囲、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。
他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
(1) 提出図書
1) 工事書類 監督職員の指示による。
各2部ずつ

2) 工事完成図書 完成図（竣工図〔製本3（原寸1部、A3（見開き）2部）・施工図（製本1部）
・機器完成図（ファイル等2部）
・保守に関する説明書（取扱説明書・保証書） 2部
・機器性能試験成績書 2部
・総合調整測定表（試験結果・測定結果等） 2部
・官公署届出書類控、検査済証 2部
・出来形確認書類 2部 等
○ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。
・工事書類は書籍工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編、工事完成図書編）に基づき電子納品（3部）すること。
○ 工事写真は書籍工事写真撮影要領（平成27年版）に従い撮影すること。
・建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。

(2) 機器及び材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。
尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。
又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

(3) 官公署等への届出手続

工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。
1) 消火器の設置届については、機械設備にて設置届を提出する必要がある場合、届出を行うこと。
2) 防火対象物使用開始届については、書類の作成（機械設備図面の用意及び機械設備に関する部分の記述）を行うこと。

(4) 品質管理

工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

(5) 出来形管理

以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。
1) 各種機器据付
○ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
・基礎寸法
○ 水平、垂直等
2) 配管・ダクト工事
○ 支持間隔
○ 振れ止め支持間隔
3) 屋外排水工事
○ 排水勾配
○ 樹の深さ
4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ

(6) 製品確認

発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。
□ 適用する
■ 適用しない

(7) 耐震安全性の分類

構造体（Ⅲ）類 建築非構造部材（B）類 建築設備（乙）類

(8) 冷媒（フロン類）の回収

■適用する
□適用しない
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。
・フロン回収行管理票
・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。
パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

6 工事種目

給排水衛生設備工事

(1) 屋外給水設備工事

(2) 屋内給水設備工事

(3) 屋外排水設備工事

(4) 屋内排水通気設備工事

(5) 衛生器具設備工事

(6) 給湯設備工事

(7) 浄化槽設備工事

■ 空調設備工事

(1) 機器設備工事

(2) 配管設備工事

(3) 換気設備工事

7 工事概要

給排水衛生設備工事

(1) 給水設備工事

本工事は図示のごとく量水器以降を工事範囲とし、給水本管直圧方式によって所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規 格品JIS 10K とする。

(2) 屋外排水設備工事

本工事は、汚水、雑排水を第一尉より合流方式とし、合併浄化槽に至る配管、斜を勾配に十分留意し敷設するものとする。

現場打ちまたはプラスチック製とする。

(3) 屋内排水通気設備工事

本工事は汚水、雑排水を分流式により屋外側に接続放流する。

(4) 衛生器具設備工事

衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けけるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。

(5) 給湯設備工事

空冷HP給湯器による局所給湯方式 とし、図示の各所に給湯する。

(6) 浄化槽設備工事

本工事は図示の位置に、FRP製処理能力2.0m³/日、放流水質BOD200mg/L 拒水流動濾過方式等による合併処理浄化槽を設置し、汚水処理の上放流する。

■ 空調設備工事

(1) 機器設備工事

本工事は、空冷ヒートポンプパッケージエアコン の組み合わせによる局所方式により冷暖房をおこなうものとする。各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。

空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件

外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6
冬期	1.7	-1.3	49.6	
室内条件	夏期	26	-	-
冬期	22	-	-	-

(2) 配管設備工事

各機器間のドレン、冷媒配管をおこなう。配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。

(3) 換気設備工事

天井昇、壁換気扇の設置ならびに付帯ダクト設備を行うものとする。

8 総合調整

(1) 風量調整

■ 適用する

□ 適用しない

(2) 水量調整

■ 適用する

□ 適用しない

(3) 室内外空気の温度測定

■ 適用する

□ 適用しない

(4) 室内外空気の湿度測定

■ 適用しない

(5) 室内気流及びじんあいの測定

□ 適用する

■ 適用しない

(6) 騒音の測定

□ 適用する

■ 適用しない

(7) 飲料水の水質の測定（水道法施行規則第10条による水質検査）

□ 適用する

■ 適用しない

9 工事細目

(1) 配電材料

□ 給水管

□ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116（一般：SGP-VA、VB 地中：SGP-VD）

□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD）

※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。

※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。

□ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742（一般・地中：H1VP）

□ 水道配水用ポリエチレン管 JWNA K 144（地中：PE）

□ 水道用ステンレス鋼鋼管JWNA G 115

□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448

□ 配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3459

※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。

■ 雑排水管

□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き）

■ 土間：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。

□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。

□ 通気管

□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き）

■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可

□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。

□ 給湯管

□ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K 140（一般：SGP-HVA 地中：内外面耐熱性硬質塩化ビニリング鋼管）

■ 水道用ステンレス鋼鋼管JWNA G 115

□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448

■ 屋外埋設排水

■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

□ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58（REP-VU）

□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797（RS-VU）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。

□ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（排水路用速硬化鉄筋コンクリート管）

■ ドレン管

□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可。

□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。

■ 冷媒管

□ 銅及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300

■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品

ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mm（液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい）とする。

※ 冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。

※ 弁類

揚水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5K とする。

塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	2m以下	支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	125A以上	3m以下	鋼管	-	65A～100A	125A～
鋼管			鋼管			

※ 縦走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	2m以下	支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	125A以上	3m以下	鋼管	-	65A～100A	125A～
鋼管			鋼管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下

基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下

形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

丸ダクト

□ スパイラルダクト

□ 下水適用リサイクル三層硬質塩化ビニル管（多湿箇所） AS-62（RS-VU）

(3) 保温塗装工事

1) 材料

□ グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K（屋内一般等） 保温板 JIS A 9504 2号 40K

□ 給水管

□ 排水管

□ 給湯管

□ 温水管

□ 蒸気管

□ 冷水・冷温水管

□ 冷媒管

（屋外等）

□ 給湯管（70℃以上）

□ 温水管

□ 蒸気管

□ 冷水・冷温水管

□ 冷媒管

□ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号（屋内一般等） 保温板 JIS A 9511 3号

□ 給水管

□ 排水管

□ 冷水・冷温水管

□ 冷水管（2～4℃）

□ プライン管

□ プライン管

（屋外等）

□ 給水管

□ 排水管

□ 給湯管（70℃以下）

□ 冷水・冷温水管

□ プライン管

□ 消火管

2) 保温厚

■ グラスウール、ロックウール

保温厚（mm）	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯～80A	100～150A	-	-	200A～	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	～25A	-	32～50A	65A～	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	～25A	32～200A	250A～

・ ポリスチレンフォーム

保温厚（mm）	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	～25A	32～200A	250A～	-
冷水管（冷水温度2～4℃）	-	-	～20A	25A～100A	125A～	-
プライン管	-	-	-	～25A	32～80A	100A～

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様（R、G保温材の仕様のみ）

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&5&7 5&7&5 以上
天井内・P・S内	7&5 55℃熱保層			
断熱内（ビッド内）	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&5 5&7 以上
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内（ビッド内）の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法；架橋ポリエチレン・ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。

空調設備配管の保温仕様（R、G保温材の仕様のみ）

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	7 15/16 2 1/4	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	7 15/16 2 1/4	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	7 15/16 2 1/4		
断熱内（ビッド内）	保温筒	鉄線	7 15/16 2 1/4	着色アルミガラスクロス仕上	
屋内露出	保温筒	鉄線	7 15/16 2 1/4	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 □ SUS鋼板仕上（屋外露出部分）

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径（保温されるものは、保温厚を含む）より40mm程度大（=2サイズUP）なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板（実管ダクト）とする。
地中部分のスリーブは、塩化ビニル管（VU）とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. 請負代金が高い便を超える大規模工事については、地中梁以外の梁抜き管スリーブは、亜鉛板製とする。
4. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前には必ず撤去のこと。

10 共通事項

1) 陸上ポンプ、送排風機（エアハン含む）の電動機は、すべて全閉防ま形とし、4極を原則とする。（加圧給水ポンプユニットを除く。）

2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。

3) 系統が分かるように、必要箇所（機械室、P・S内等）に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。

4) 機器・配管・支持物には、絶縁処理を行うこと。

5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。

6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造用鉄筋より取り出す。もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。

7) 機器、配管の前震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。

8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。

9) 屋外埋設管（給水、消火、ガス）には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設槽を施工すること。

10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。

11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。

12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。

13) 地中埋設管については、下記の沈下対策を講ずること。
○ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をたせる。
○ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
○ 土間配管は、土間隙に落下するなど埋設配管を保持すること。
○ 呼び径100A以上はⅢ10、125A～250AはⅢ12、250A以上はⅢ16のステンレス棒鋼を使用する。

14) 屋外露出及び多湿箇所（トンネルビッド等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。

15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。

16) 合成樹脂製カバーの仕上がりについては、要所にステンレスバンド及び菊巻の取り付けを行うこと。

17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。

■ 11 指定資材及び参考見取りメーカー

分類	資材名	規格・メーカー等（アイウエオ順）	
管	塩ビライニング鋼管	「水」マーク表示品 WSP規格品	
	配管用炭素鋼鋼管	JISマーク表示品	
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
	リサイクル塩化ビニル管	JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品	
継手	給管	SHASE-S表示品	
	鋼管	継ノノック仕様 継ノコメマテリアル鋼管	
	鋼管	継ノコメ鋼管 設備電機産業（株） または同等品以上	
	ダクタイル鉄管	水道用 「水」マーク表示品	
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
	耐火二層管	国土交通大臣認定品	
	ライニング鋼管継手	JPF規格品 「水」マーク表示品	
	鋼管継手	WSP規格品	
	ビニル管継手	JISマーク表示品 JPF規格品 WSP規格品	
	鋼管継手	外面含む 「水」マーク表示品	
弁	鋼管継手	継ノノック仕様 東洋フイツテング機 設備電機産業（株） または同等品以上	
	ステンレス鋼管継手	JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品	
	耐火二層管継手	国土交通大臣認定品	
	特殊継手（バロース形、スリーブ形）	JISマーク表示品（バロース型） SHASE-S表示品（スリーブ型）	
	コナウ継手	トーフレ機 日立金属機 継ベン 継シシタケ または同等品以上	
	青銅弁・鉄製弁	JISマーク表示品	
	その他弁類	継キッツ 東洋バルブ機 日立金属機 継ベン 継シシタケ または同等品以上	
	保温材	グラスウール保温材 ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材	JISマーク表示品
	衛生器具	衛生機器・水栓	JISマーク表示品
		衛生器具ユニット	設備機材等評価名簿による。
例	例類	協和コンクリート工業機 ネオジオイソプラック機 発名工業機（有）八八産業 または同等品以上 （公社）日本下水道協会、フジタマ・マシナリ協会 規格対象品又は選定品	
	例類	継オオタケフアンドリー カネソウ機 ダイレ機 継中部コーポレーション 継西鉄物機 継水キキャスト または同等品以上 設備機材等評価名簿による。	
量水器	量水器	移設のみ	
浄化槽	合併浄化槽	RC造	継ダイキアキス 継西原ネオ フジクリーン工業（株） 継吉工業（株） または同等品以上
		FRP	国土交通大臣型式認定品
フロア			継日機工業 継アレンレット 継新明和工業機 継安永エアポンプ機 または同等品以上
空気調和機	パッケージ形空気調和機		設備機材等評価名簿による。
換気扇	換気扇類		継テラクルタ機 継東芝 継日立アプライアンス機 継ハナソニック機 継三菱電機機 または同等品以上 継栗本機工所（株） 継新富士空調 フジヨリ産業機 または同等品以上
ダクト	スパイラルダクト		継栗本機工所 継オオツカ 継栗本機工所 または同等品以上
	フレキシダクト		

【注記】 ① JISマーク、水マーク（JWMA：日本水道協会規格）、WSP（日本水道鋼管協会規格）、SHASE-S（空気調和・衛生工学会規格）、JPF（日本金属継手協会規格）SAS（ステンレス協会規格）の番号については、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」による。

② JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。

③ 設備機材等評価名簿とは、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）をいう。但し、評価名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

設計図書に関する情報

建築士法第20条第5項の規定に基づく表示

■建築設備の設計に関し建築設備士に意見を聴いていない

■建築設備の設計に関し建築設備士に意見を聴いた（意見を聴いた者）

【氏名】

【資格】

【勤務先】

【登録番号】

【意見を聴いた設計図書（図面番号）】

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様（R、G保温材の仕様のみ）

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	
天井内・P・S内	75A・314熱伝導率	アルミガラスクロス粘着テープ	75A・314熱伝導率	
暗渠内（ビツト内）	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色75A・314熱伝導率
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内（ビツト内）の仕様を防食テープ巻きに読み替える。

※ 2) サヤ管工法；架構ポリエチレン・またはPブデン管使用の場合は、上表保温不要。

空調設備配管の保温仕様（R、G保温材の仕様のみ）

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	#15F927A4A	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	#15F927A4A	原紙	
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	#15F927A4A	アルミガラスクロス仕上	アルミガラスクロス仕上
暗渠内（ビツト内）	保温筒	鉄線	#15F927A4A	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	#15F927A4A	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別

■ 保温化紙ケース仕上 □ SUS鋼板仕上（屋外露出部分）

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径（保温されるものは、保温厚を含む）より40mm程度大（≒2サイズUP）なるものとする。

管抜きスリーブは、木枠又は鋼板（実管ダクト）とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。

2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管（VU）とし、止水を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。

3. 腐食危険度が1億を超える大規模工事については、地中梁以外の梁抜き管スリーブは、亜鉛鉄板製とする。

4. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ポイドとする。紙ポイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

工事名称

道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事設計図

特記仕様書

A3 71%縮小

設計

訂正

担当

一級建築士 登録 73286号

箕浦真司

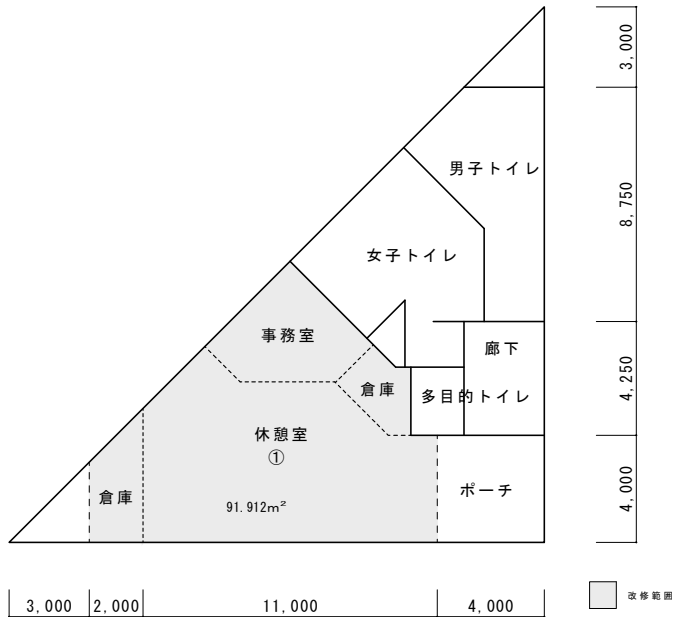
一級建築士事務所 箕浦設計

三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550

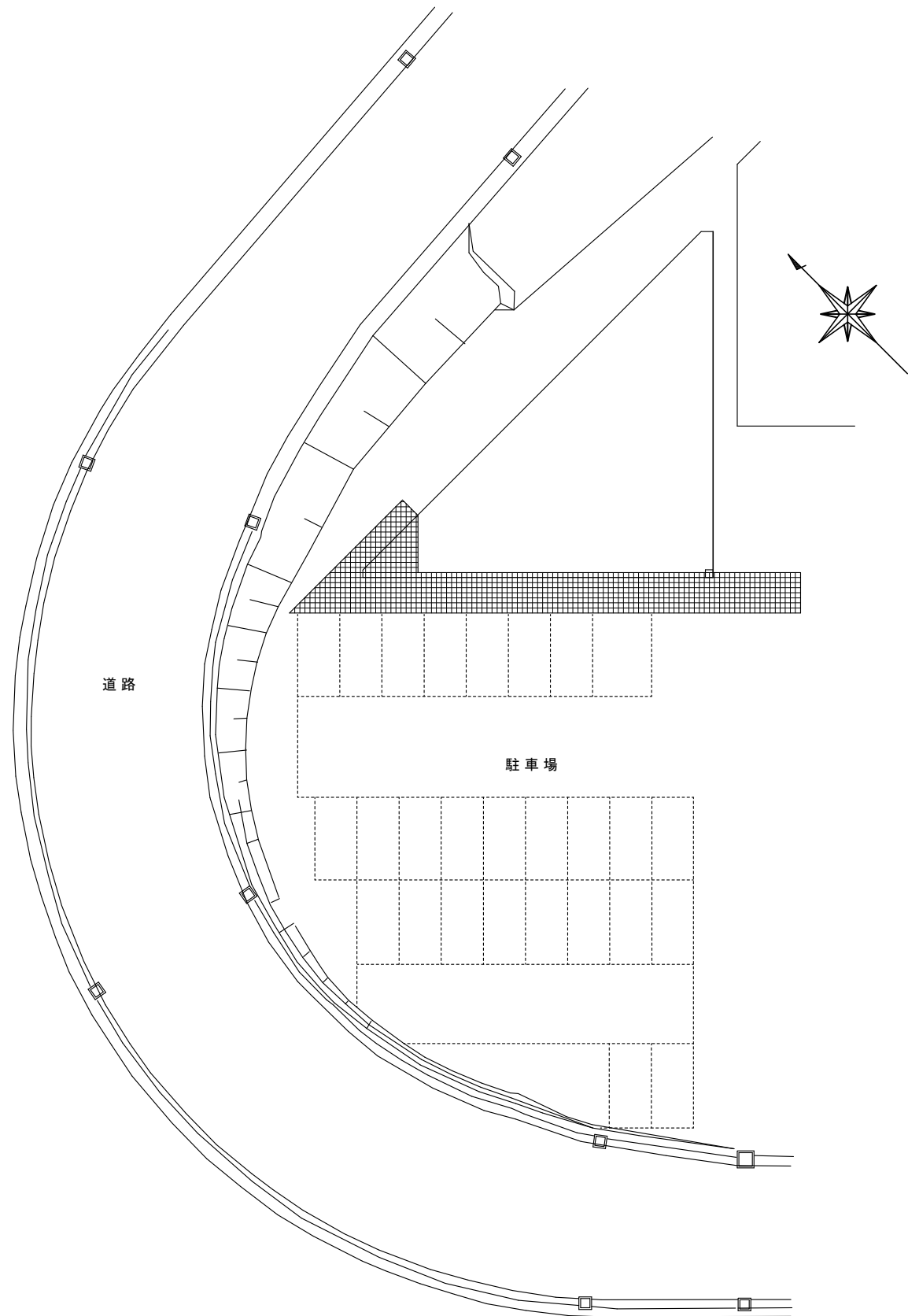
図面番号

M 01

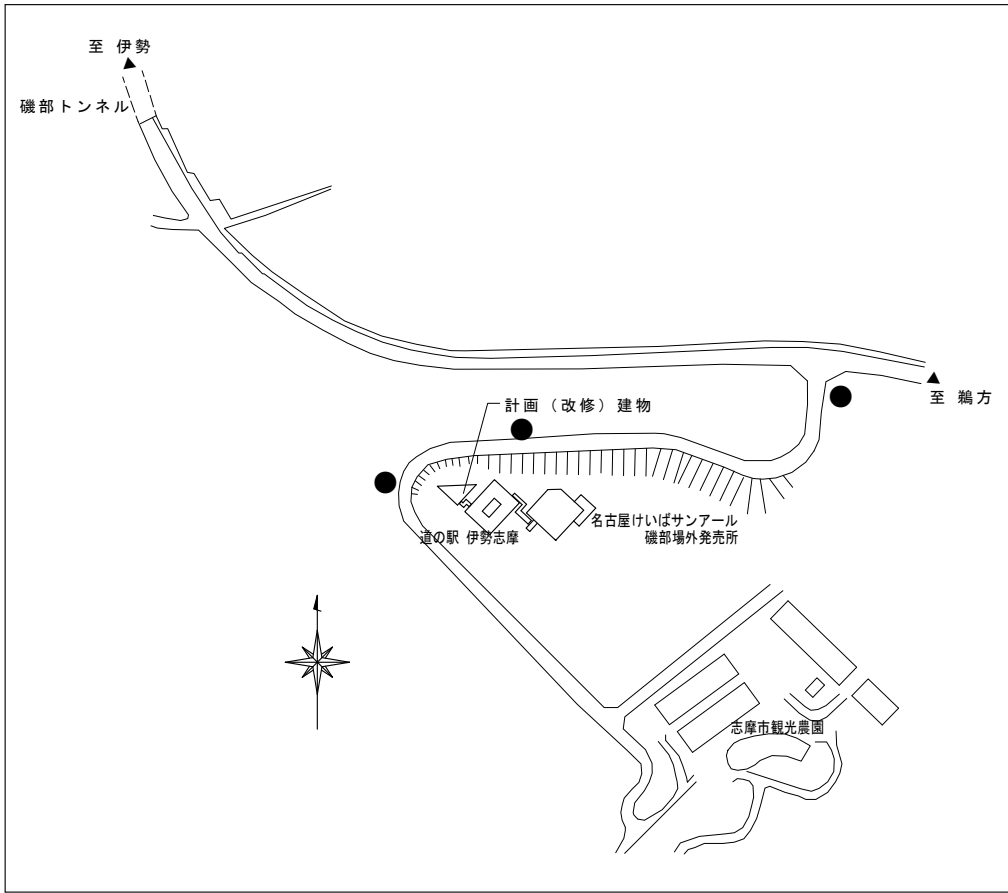
概要			
工事名称		工事種別	用 途
道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事		改修	休憩所 公衆トイレ
建築地 志摩市 磯部町穴川 地内	用途地域	防火指定	その他の区域・地域
	指定なし	指定なし	法第22条地域
敷地面積 -- m ²			
建ぺい率 -- (60%)		容積率 -- (200%)	
	改 修 部 分	既 設 部 分	合 計
建 築 面 積	m ²	m ²	200.00 m ²
床 面 積 1 階	91.912 m ²	108.088 m ²	200.00 m ²
	m ²	m ²	m ²
合 計	91.912 m ²	108.088 m ²	200.00 m ²



全体平面図
S=1/200



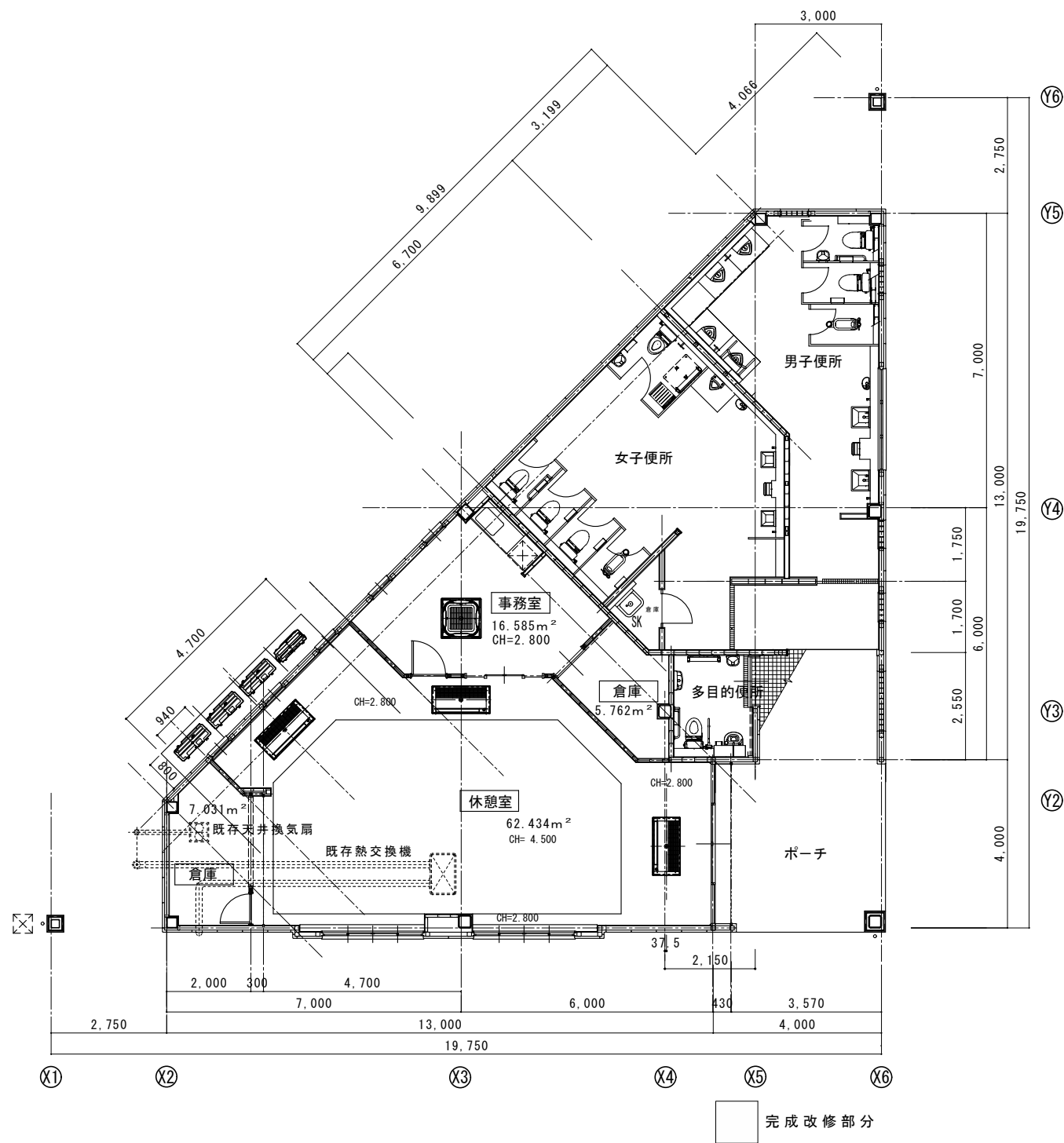
配置図
S=1/250



附近見取図
S=1/5000

● 休憩室等 改修中のお知らせ看板位置
(仮設工事に含む)

工事名称 道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事 設計図	附近見取図 配置図	設計	担当			一級建築士 登録 73286号 箕 浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿児町鵜方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 M— 02
	面積表 A3 71%縮小	訂正						



改修平面図 S=1/100

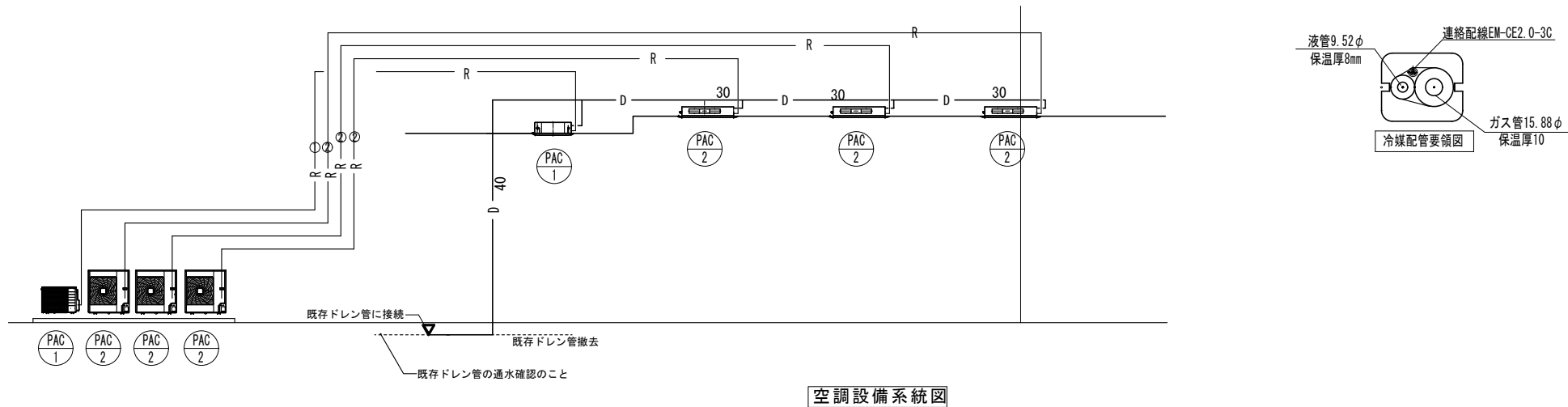
工事名称 道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事 設計図	改修平面図 S=1/100	設計	担当			一級建築士 登録 73286号 箕 浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 M — 03
	A3 71%縮小	訂正						

空調機器表

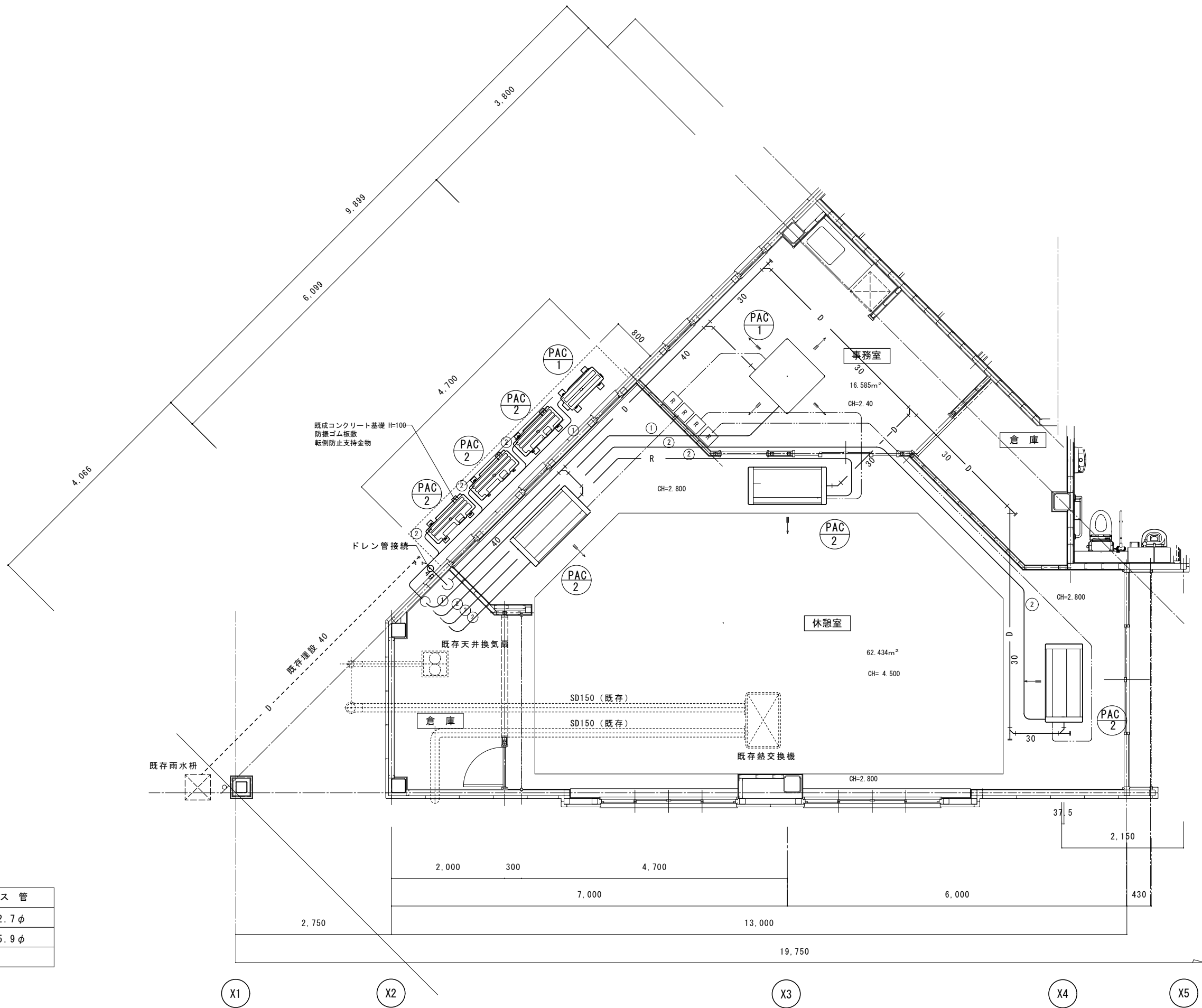
[illegible]

注記

冷房能力及び暖房能力は J I S 条件による。
 室外機一室内機間の 2 次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線、配管は既存使用とする。
 外部配管カバーは樹脂製とし堅固に固定する。金具は垂鉛溶融鍍金又は同等品とする。



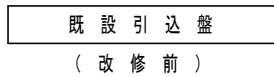
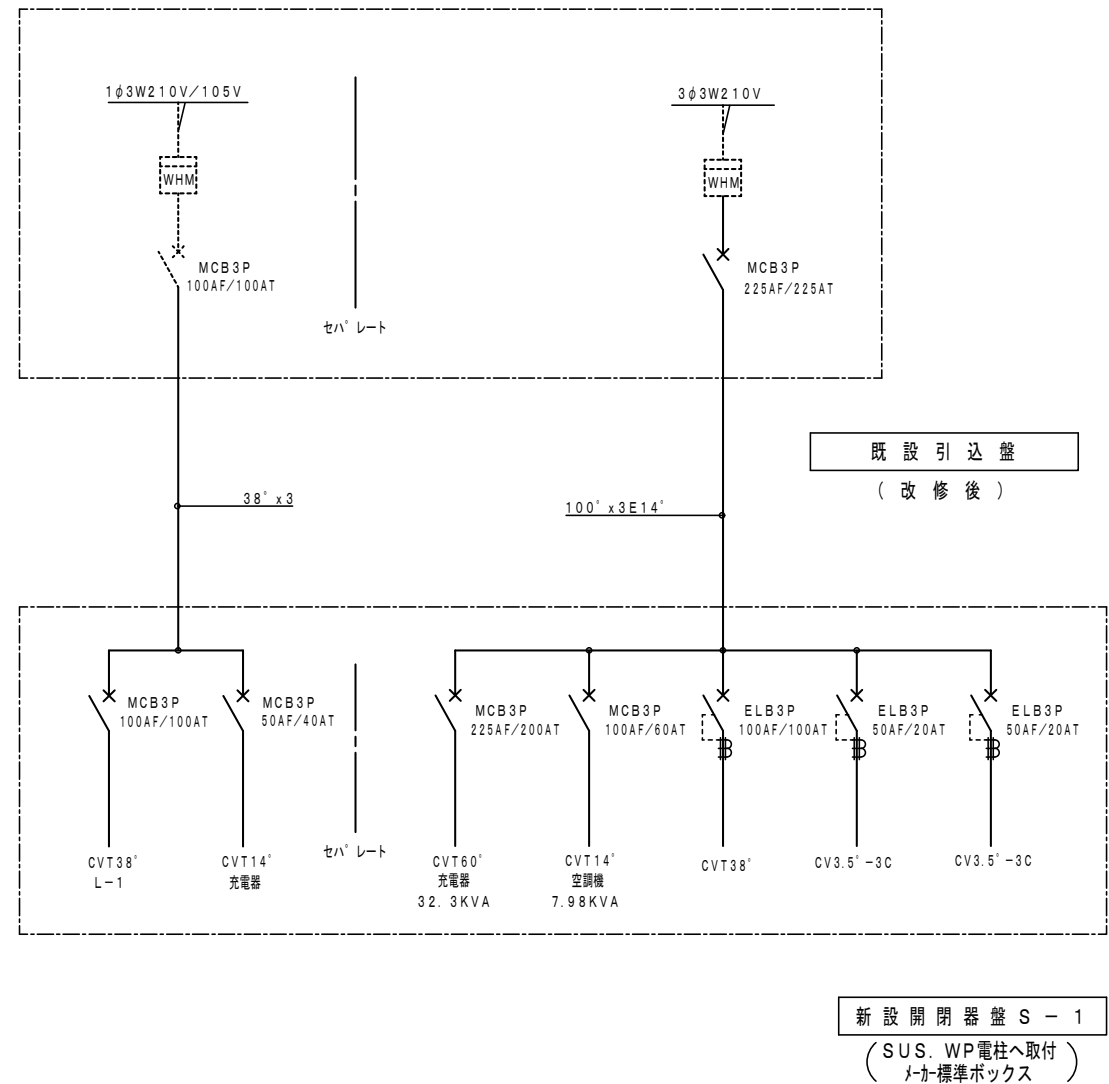
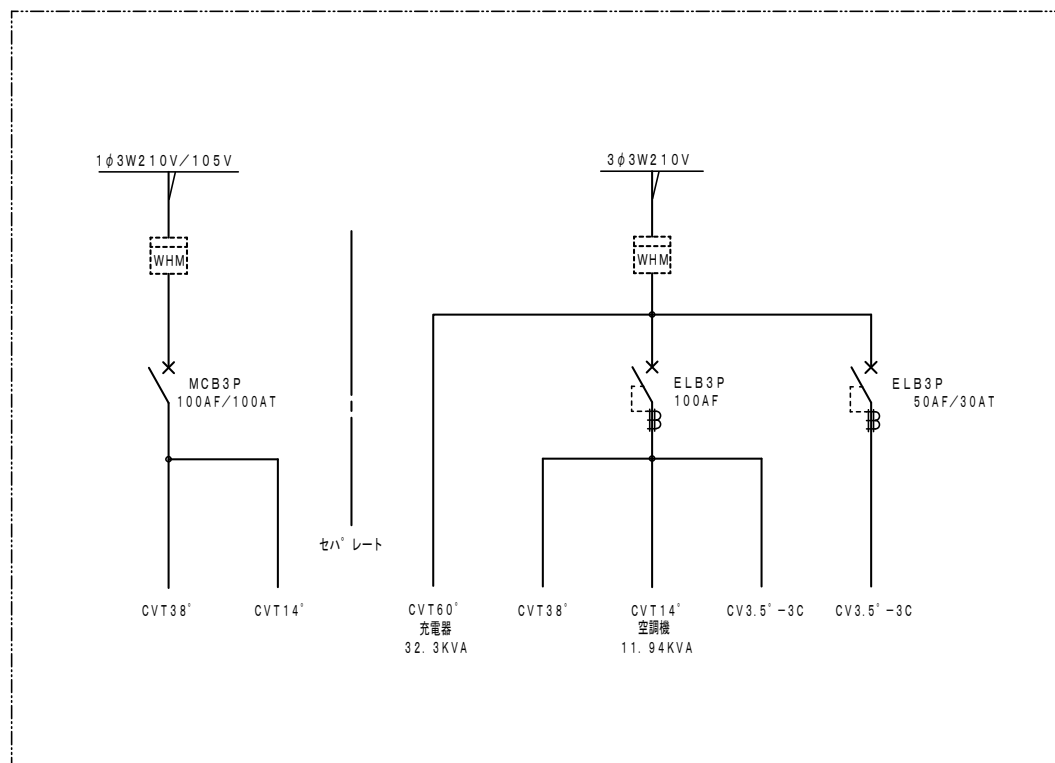
工事名称 道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事 設計図	機器表 空調設備系統図	設計	担当			一級建築士 登録 73286号 箕 浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿児町鵜方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 M — 05
	A3 71%縮小	訂正						



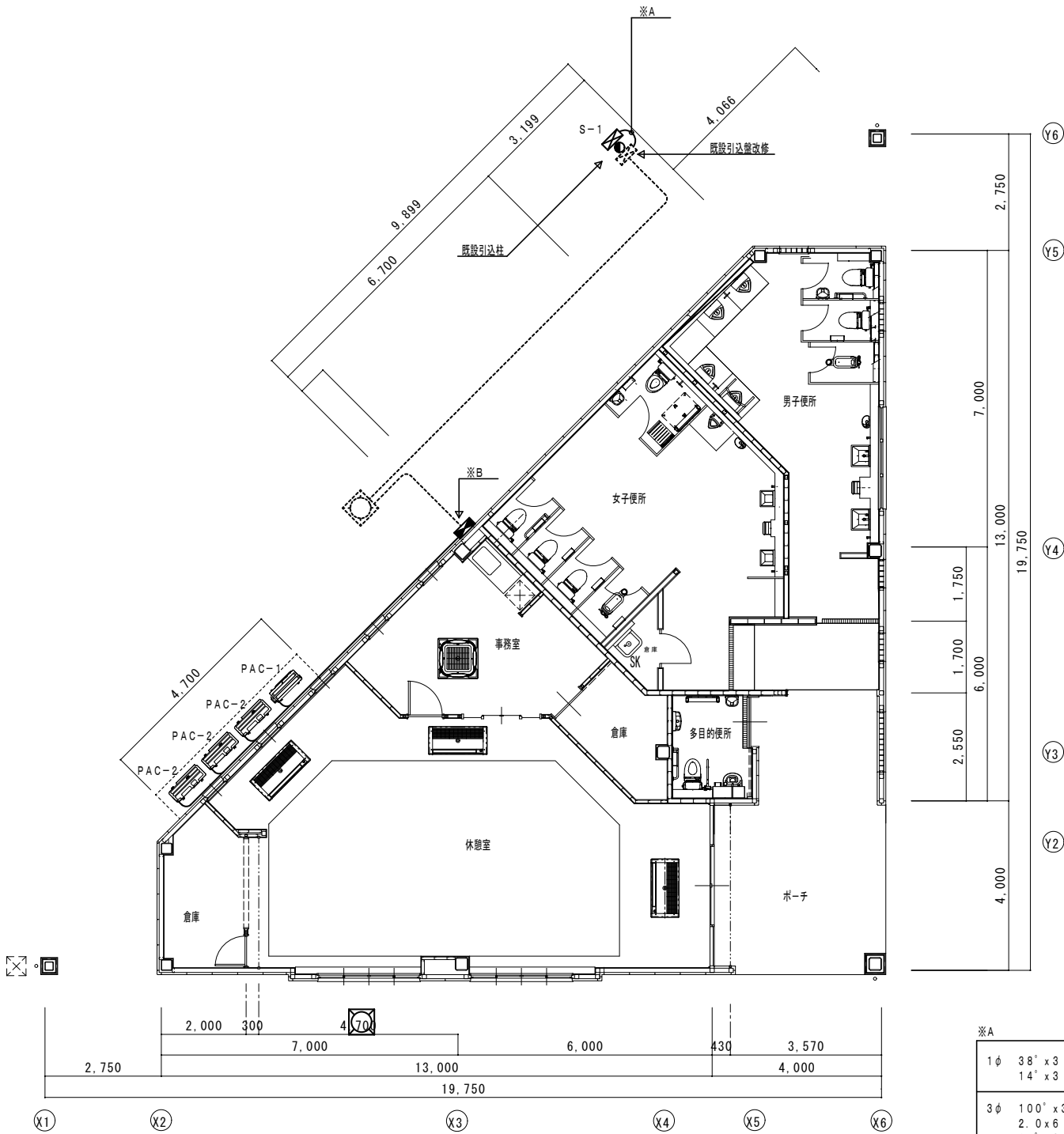
冷媒管サイズリスト		
	液 管	ガ ス 管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.9φ

空調設備平面図 S=1/50

電気設備工事特記仕様書	
1. 施工基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> *国土交通省大臣官庁官庁庁舎建設部 監修 <ul style="list-style-type: none"> 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」 「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）最新版」 「電気設備工事監理指針 最新版」 *国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所 監修 <ul style="list-style-type: none"> 「建築設備耐震設計・施工指針（最新版）」 *電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） *所轄電力供給者内規 *消防関係法規（所轄指導要領含む） *その他、関連法規、関係諸基準
2. 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督職員指示のつて入念かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図面に定められた内容・現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合・図面上の誤記及び記載漏れ等起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することと将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督職員と協議すること。なお設計図書のとおりに施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じることを。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督職員の指示により手直し施工を行うこと。</p>



工事名称 道の駅「伊勢志摩」空調機改修工事 設計図	特記仕様書・単線結線図	設計	担当			一級建築士 登録 73286号 箕 浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 E — 01
	A3 71%縮小	訂正						



改修平面図 S=1/100

※A			
1φ	38" x 3	(#38) x 2	
	14" x 3	(#30)	
3φ	100" x 3E14"	(#63)	
	2.0 x 6	(#24)	
	14" x 3	(#30)	
	38" x 3	(#38)	
	60" x 3	(#50)	

*防水可とう管使用

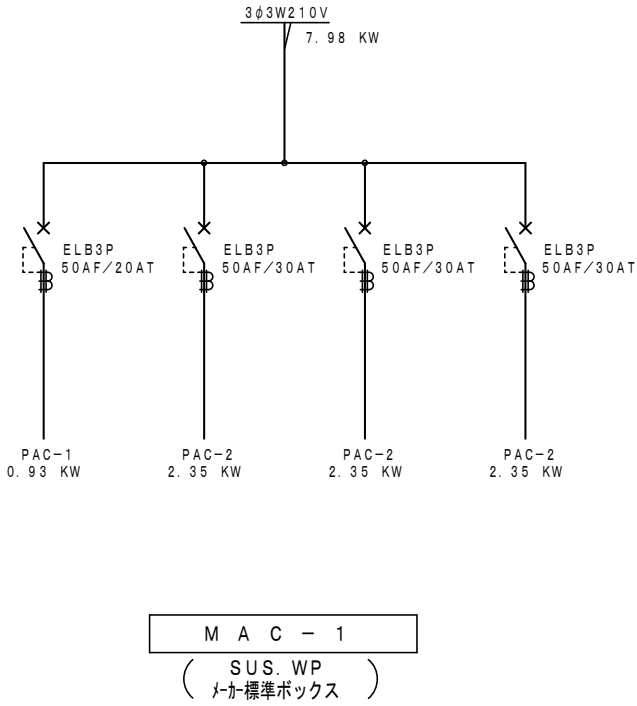
※B

既設開閉器を撤去し、開閉器壁MAC-1を新設。

PAC-1	0.93 KW	CV3.5' -4C (HIVE22)
PAC-2	2.35 KW	CV3.5' -4C (HIVE22)

注記

*点線は既設を示す。



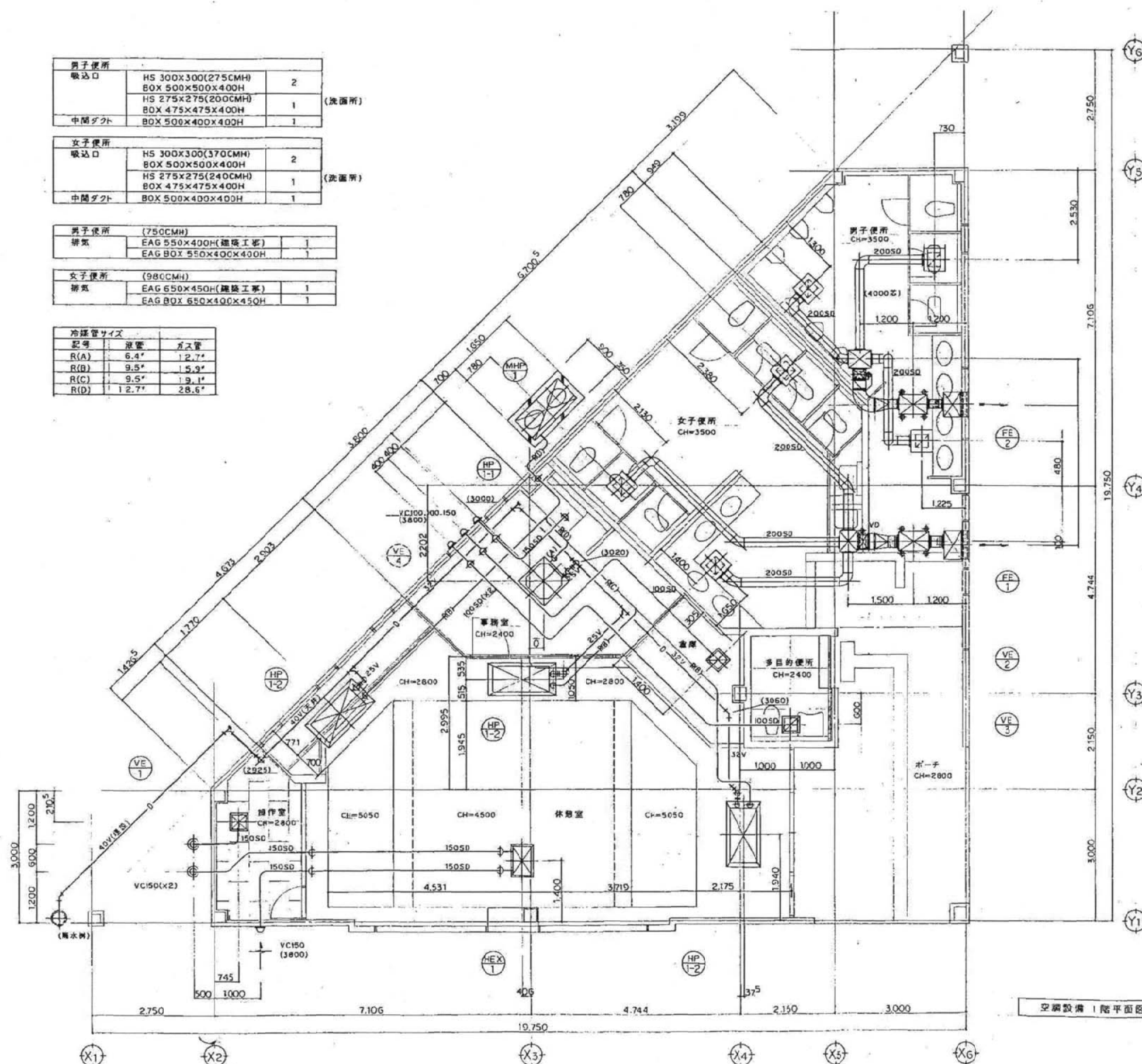
男子便所	HS 300X300(275CMH)	2	(洗面所)
吸込口	BOX 500X500X400H		
	HS 275X275(200CMH)	1	
中間ダクト	BOX 475X475X400H	1	

女子便所	HS 300X300(370CMH)	2	(洗面所)
吸込口	BOX 500X500X400H		
	HS 275X275(240CMH)	1	
中間ダクト	BOX 475X475X400H	1	

男子便所	(750CMH)	
排気	EAG 550X400H(建築工事)	1
	EAG BOX 550X400X400H	1

女子便所	(980CMH)	
排気	EAG 650X450H(建築工事)	1
	EAG BOX 650X450X450H	1

冷媒管サイズ	配管	ガス管
R(A)	6.4"	12.7"
R(B)	9.5"	15.2"
R(C)	9.5"	19.1"
R(D)	12.7"	28.6"

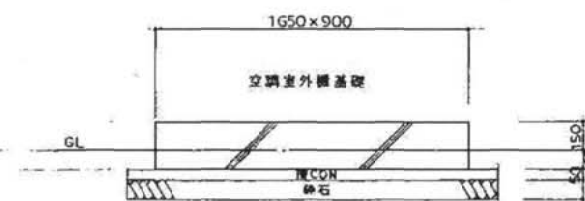


空調機器表 三井重工業(株)

記号	名称及び品番	数量
MHP-1	ヒートポンプマルチエアコン室外機(FDCJ280HKX2A) 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW 圧縮機 3.5KW+3.75KW(3"X200V) 送風機 180CMX100W(X2)	1
HP-1-1	天井カセット形(4方向吹出)室内機(FDTCJ45HKXD1) 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5.0KW 送風機 14CMX30W(1"X200V)	1
HP-1-2	天井カセット形(1方向吹出)室内機(FDTSJ71HKXD1) 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW 送風機 18CMX25W(X2)(1"X200V)	3

換気機器表 松下電器(株)

記号	名称及び品番	数量
HEX-1	天井カセット形全熱交換器(FY-350ZB5) 風量 350CMHx120W(1"X100V)	1
FE-1	静音キャビネットファン(FY-25NCS2) 風量 980CMHx270W(1"X100V)	1
FE-2	静音キャビネットファン(FY-20SCS2) 風量 750CMHx65W(1"X100V)	1
VE-1	天井用 低騒音オール金属形(FY-32BK5H/34) 風量 500CMHx64W(1"X100V)	1
VE-2	天井用 低騒音オール金属形(FY-27BM5/34) 風量 200CMHx27W(1"X100V)	1
VE-3	天井用 低騒音オール金属形(FY-24BG5/34) 風量 150CMHx22W(1"X100V)	1
VE-4	天井用 ミニキッチン付属品(建築工事)	(1)



(0.372㎡)

空調設備 1階平面図 S=1/50

参考図